

## 情報公開文書

研究課題名：

新型コロナワクチンの中等症・重症に対する有効性評価のための症例対照研究

研究の目的と方法：

2019年12月に発生が確認された新型コロナウイルス感染症は、世界的に大きな問題となっています。2021年には複数の新型コロナワクチンが国内でも導入され、これらのワクチンは様々な研究において、高い発症予防効果を示しており、諸外国における初期の観察研究からは高い重症化予防効果が認められました。しかし、ワクチン効果に影響を与えうる変異株が複数見つかかり、ワクチン効果の減衰も懸念されています。そこで、本研究では、当院に入院された方の診療録(カルテ)等の記録を匿名化した上、国立感染症研究所においてこのデータを解析して、新型コロナワクチンの中等症・重症に対する有効性を検討します。本研究の結果は、新型コロナウイルス感染症対策に非常に有用な知見をもたらす可能性があり、社会的意義は非常に大きいと考えます。なお、本研究でいただいた情報を用いて個人を特定することはありません。よって、研究の成果が学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることは一切ありません。この研究のために情報を提供するかどうかは、患者様の自由意思です。提供しないことにより不利益を被ることは一切ありません。その場合には、患者様本人、もしくはその代理人の方がお問い合わせ先までお申し出ください。すでに学会発表や論文、報告書等として公開された結果については撤回しかねますのでご了承ください。

研究の対象者及び対象期間：

2020年1月以降、2025年3月31日の研究終了までに当院に入院された方。

研究に利用する試料・情報：

当院のカルテ等に記載のある臨床情報(年齢、性別、ワクチン接種歴等)。ワクチン接種歴等カルテ等に記載がない場合は、確認のために医療機関の担当者等から本人・親族に連絡がある可能性があります。国立感染症研究所には個人が特定されないように匿名化された情報が送られ、解析されます。

研究代表者：

国立感染症研究所 感染症疫学センターセンター長 鈴木基

当院の研究責任者：

京都市立病院 感染症科 栃谷健太郎

お問い合わせ先：

京都市中京区壬生東高田町1-2

地方独立行政法人 京都市立病院機構 京都市立病院 感染症科

075-311-5311(代表) (月～金 8:30～17:15)